

盛岡市コロナ禍における女性支援事業【盛岡市】

地域の実情と課題

○実情（女性の就業・雇用）

- ・サービス業従事者（53.7%）と卸・小売業従事者（20.5%）が全体の約4分の3（74.2%）を占めている。
- ・本市の女性就労者に対する非正規雇用者の割合は50.7%である。男性の数値（16.1%）よりも、かなり多い割合となっている。

○課題

- ・コロナ禍において様々な困難を抱えた女性を包括的な支援につなげるためには、各相談窓口の認知と相談につながる仕組の構築が肝要である。

事業の特徴

○相談事業の拡充

これまで学校や仕事のため、平日に相談できなかった女性が相談しやすいよう、相談時間を拡充し、体制を整備した。

（既存の相談時間）月火金10時～17時/水木10時～20時/土日なし

（拡充した時間）（R3.8～R4.2）月火金17時～20時/土日10時～16時

○相談窓口の周知及び生理用品の無償提供

- ・市相談窓口（もりおか女性センター・子ども青少年課女性相談・盛岡くらしの相談支援室）や市内子ども食堂、食料支援NPO団体、ハローワーク、学校等で、希望者に対し生理用品及び相談窓口を周知するチラシを配布した。

事業の効果

○新規相談件数

- ・事業実施期間（R3.7～R4.3）における、もりおか女性センターの新規相談件数が213件となり、目標を上回った。拡充時間（夜間・土日）における相談件数は合計33件だった。

○アンケート結果や窓口寄せられた声

- ・「生理用品の配布が今後も継続してほしい」と回答した割合が83.6%と、生理用品の提供は市民ニーズが高いことが分かった。
- ・「娘3人いるので大変助かります。ありがとうございます。」「どうしても必要な消耗品ですので助かります。」など感謝の声も多数あった。

目的・目標

- ・新型コロナウイルスの感染拡大により様々な不安を抱える女性に対し、相談事業の拡充及び生理用品の無償提供と併せた相談窓口の周知を実施し、包括的な支援につなげるもの。

<事業目標>

○相談への意識の変容度

（R3）目標値60% → （R3）実績値 77.3%（達成）

連携団体

○経済団体・関係団体・大学等との連携

盛岡市（3課）、市教育委員会、もりおか女性センター（NPO法人参画プログラミング・いわて）、認定NPO法人インクルいわて、市内子ども食堂実施団体など

○連携地方公共団体との連携

労働局（ハローワーク）、岩手県、岩手県男女共同参画センター、岩手県福祉総合相談センター、広域8市町（滝沢市、八幡平市、葛巻町、岩手町、雫石町、矢巾町、紫波町）など

今後の課題

○事業周知の工夫

- ・子育て世代やシングルマザーの方には、担当部署や相談窓口と連携することで、事業周知することができているが、学生や20代30代の単身の女性など、行政と関わるのが少ない方への周知が課題。

○生理用品の提供方法

- ・生理用品の受け取りやすさなど、市民目線で配布方法の研究が必要。

事業の概要

盛岡市コロナ禍における女性支援事業

事業期間：令和3年7月1日から令和4年3月31日まで

目的：新型コロナウイルスの感染拡大により様々な不安を抱える女性に対し、相談事業の拡充及び生理用品の無償提供と併せた相談窓口の周知を実施し、包括的な支援につなげるもの。

内容：①相談事業の拡充
②相談窓口の周知及び生理用品の無償提供

効果：事業実施期間（R3.7～R4.3）における、もりおか女性センターの新規相談件数が213件となり昨年度よりも増加した。また、相談への意識の変容を確認するため、チラシや生理用品を受け取った方にアンケートを実施し「今すぐ相談したい」「今後必要があれば相談したい」「現在相談している」と回答した割合が77.3%となり、相談機関の周知が進んだほか相談に対するハードルを下げることもつながった。

①相談事業の拡充

これまで学校や仕事のため、平日に相談できなかった女性が相談しやすいよう、相談時間を拡充し、体制を整備した。

【既存の相談時間】月火金10時～17時/水木10時～20時/土日なし

【拡充した時間】（R3.8～R4.2）月火金17時～20時/土日10時～16時（週21時間増）

②相談窓口の周知及び生理用品の無償提供

市相談窓口（もりおか女性センター・子ども青少年課女性相談・盛岡くらしの相談支援室）や市内子ども食堂、食料支援NPO団体、ハローワーク、学校等で、希望者に対し生理用品及び相談窓口を周知するチラシを配布した。配布数は8,089セット。

利用者アンケート結果

Q1 今どんなことが心配ですか？どんな事にお困りですか？（複数回答可）

- ①金銭面73% ②コロナ感染51% ③家族19% ④仕事29% ⑤人間関係10% ⑥DV8%
- ⑦子どもの進学18% ⑧学校5% ⑨その他2%

Q2市における生理用品配布は今後も必要だと思いますか？

- ①今後も継続してほしい83.6% ②必要がない0.04% ③その他2.5% ④未記入13.4%

Q3これを機会に相談機関に相談しようと思いますか？

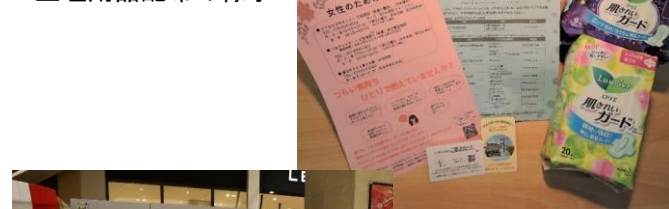
- ①今すぐ相談したい1.3% ②今後必要がある時に相談したい58.8% ③現在相談している17.2%
- ④相談しない1.7% ⑤わからない10.9% ⑥未記入10.1%



事業周知チラシ（複数）



生理用品配布の様子



生理用品



ショッピングモールのデジタルサイネージでのお知らせ